

# 一般会計予算決算常任委員会記録

令和4年3月10日

【開催日】 令和4年3月10日

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午後1時～午後2時20分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	長谷川知司
委員	伊場勇	委員	大井淳一郎
委員	岡山明	委員	奥良秀
委員	笹木慶之	委員	白井健一郎
委員	恒松恵子	委員	中岡英二
委員	中島好人	委員	福田勝政
委員	藤岡修美	委員	古豊和恵
委員	前田浩司	委員	松尾数則
委員	宮本政志	委員	森山喜久
委員	矢田松夫	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【傍聴議員】 なし

【執行部出席者】

副市長	古川博三	教育長	長谷川裕
総務部長	川地諭	企画部長	清水保
市民部長	川崎浩美	福祉部長	兼本裕子
経済部長	河口修司	建設部長	河田誠
教育部長	岡原一恵	山陽総合事務所長	篠原正裕
財政課長	山本玄		

【事務局出席者】

事務局長	尾山邦彦	事務局次長	島津克則
主査兼議事係長	中村潤之介	庶務調査係長	田中洋子
議事係主任	原田尚枝	庶務調査係書記	岡田靖仁

【付議事項】

- 1 議案第1号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）について
- 2 承認第1号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）に関する専決処分について

中村博行委員長 ただいまから一般会計予算決算常任委員会を開会いたします。本日の審査日程は、お手元に配布してありますとおり進めてまいります。それでは議案第 1 号、令和 3 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 17 回）について、各分科会での審査が終了しましたので、分科会長の報告を求めます。最初に総務文教分科会からお願いします。

（長谷川知司総務文教分科会長 登壇）

長谷川知司総務文教分科会長 それでは議案第 1 号、令和 3 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 17 回）について、総務文教常任委員会所管部分の審査が終わりましたので、報告します。今回の補正の主なものは、減債基金積立金、退職手当基金積立金、人件費、国県支出金の精算に伴う償還金等や決算を見込んだ調整である。歳入の 6 款法人事業税交付金、県税交付金は 6, 0 0 0 万円の増額。1 1 款地方交付税、普通交付税は 4 億 4, 7 9 3 万 6, 0 0 0 円の追加交付に伴う増額。1 7 款財産収入、市有地売払収入は 2, 8 1 7 万 4, 0 0 0 円の増額。1 8 款寄附金、ふるさと寄附金 1 億 3, 0 0 0 万円の減額は、昨年度返礼品で人気のおせち料理 3 段重の申込みが競争相手の増加で減ったことによるもの。1 9 款繰入金、財政調整基金繰入金は 3 億 8, 3 8 9 万 8, 0 0 0 円の減額です。歳出の人件費全般ですが、一般会計全体で 1 5 3 万 8, 0 0 0 円の減額です。主な内訳として、給料 6 0 9 万 3, 0 0 0 円の増額は人事異動等に伴う給料の増額等。職員手当等 3 1 0 万 2, 0 0 0 円の減額は普通退職手当 2 名分の増額と人事院勧告に基づく期末手当の減額。共済費 4 6 0 万 7, 0 0 0 円の減額は期末手当の減額です。2 款総務費、1 項 2 目人事管理費 2, 3 1 1 万 5, 0 0 0 円の増額は、新型コロナウイルス感染症の拡大による職員研修費の減額と、山口東京理科大学から 1 名、山口県から 2 名の職員派遣を受け入れたことによる派遣職員給与費負担金の増額です。1 項 4 目情報管理費 1, 6 6 3 万 9, 0 0 0 円の減額は、軽微なシステム改修を外部委託せず職員で行ったこと、国道 1 9 0 号電線地中化で国が構築する共同溝に接続する連携管工事が令和 4 年度以降に延伸されたこと、情報システム等の移設内容を精査したことなどによるものです。1 項 8 目財産管理費は 5 億 1, 4 1 2 万 6, 0 0 0 円の増額。1 項 1 0 目地域振興費 2 億 8 3 0 万 4, 0 0 0 円の減額は、ふるさと寄附金 1 億 3, 0 0 0 万円の歳入減額に伴うふるさと支援基金積立金 1 億 3, 0 0 0 万円の減額、新型コロナウイルス感染症の拡大に

よるハロウィンイベントの規模縮小による開催経費の減額、今年度予定していた地域おこし協力隊員2名の着任が見込めないことによる募集・PR経費の減額などです。1項14目防災費308万円の減額は、糸根川と厚狭川の2か所に設置予定の簡易水位計を県事業で設置することになったことによるもの。1項28目厚狭地区複合施設費1,932万6,000円の減額は、警備委託料と清掃委託料の落札減や保健センターの空調機器の更新時に、既設器具を活用して経費を節減したことによるもの。4項5目市長選挙費1,967万6,000円の減額は、市長選挙が無投票となったことによるもの。4項6目市議会議員選挙費2,059万4,000円の減額は、立候補者が想定より少なかったことによるもの。7項1目大学費250万円減額は、薬学部に大学院を設置する手続を円滑に進めるため、運動場の整備を市でなく山口東京理科大学に行ってもらったことによるものです。主な質疑として、「職員研修をリモートでできなかったのか」との質問に「受講対象職員が約80名おり、集まることを避けた」との答弁。「派遣職員はどの課に配属されているか」との質問に「県からは税務課と文化スポーツ推進課に、山口東京理科大学からは商工労働課に配属されている」との答弁。「サポート寄附の現状はどうか」との質問に「競合は大変厳しいが、新たな目線で返礼品を用意していきたい」との答弁。「ポータルサイトの活用の再考は」との質問に「JTB等を含め探していくが、今のサイトとも連携していきたい」との答弁。「スマイル・ハロウィンパーティーの映像作品を今後どのように活用するのか」との質問に「スタジオスマイルのユーチューブで随時公開している」との答弁。「コロナ禍で事業縮小を余儀なくされているが、地域資源活用事業「ソル・ポニエンテ」について、少人数で回数を増やすことを検討してはどうか」との質問に「この事業に限らず、人数が余り多くならないイベントを、地域資源を活用しながら行っていきたい」との答弁。「市議会議員選挙の際に、入場券が届いていない人がいたと聞いた。どうなっているのか」との質問に「立候補届出日の一週間前には発送しているが、遅れて届いた人がいた。今後は、公示日までにきちんと届くように対応したい」との答弁がありました。7款商工費、1項4目観光宣伝費の山口県央連携都市圏域事業負担金1,094万2,000円の減額は、ガラス作品の運搬・設置を一括発注して不用額が出たこと、クーポン券の利用が想定を下回ったこと、新型コロナウイルス感染症の拡大により一部の事業を中止したことによるものです。9款消防費、1項3目消防施設費1,445万9,000円の減額は、山陽消防署埴生出張所基本設計業務委託の落札減や、水道局による工事との関係で消火栓の改修を取りやめたことなどによるもの。

10款教育費、2項小学校費4,276万9,000円の減額は、小学校へのGIGAスクールサポーター配置に係る業務委託料の減額、埴生小学校ICT環境整備事業費の増額、高千帆小学校校舎増築事業に係る落札減による減額などです。3項中学校費879万8,000円の減額は、中学校へのGIGAスクールサポーター配置に係る業務委託料の減額、埴生中学校ICT環境整備事業費の増額、生徒と教員が県外で教育活動を行う予定がないことによるPCR検査業務委託料減額です。5項社会教育費1,395万4,000円の減額は、赤崎公民館屋根防水工事の落札減や埴生地区複合施設整備事業の解体工事に伴う事後家屋調査を全世帯が希望されなかったことによる業務委託料の減額です。主な質疑として、「今年度のGIGAスクールを総括するとどうだったか」との質問に「授業、生徒会活動、修学旅行などの学校行事で活用し、有効性を感じた。先生で得手不得手はあるが、今後も学校全体で取り組み、より効果的な活用を目指していく」との答弁。「調査する家屋がゼロとなったが、仮に解体工事による影響があったとしても、市に責任はないということか」との質問に「解体工事によって損害が発生したことを証明できるものがないと、責任は取れない」との答弁がありました。繰越明許費補正として、庁内電話・庁内放送管理事業1,926万4,000円は、受注企業と納品メーカーとの間で確認ミスがあり、納品が5月末まで遅れるため繰り越すもので、市の業務に支障は生じないとのことでした。LABVアドバイザー業務1,760万円は、共同事業体設立までの支援業務を行うもので、設立が次年度になるため繰り越すものです。以上で報告を終わります。

(長谷川知司総務文教分科会長 降壇)

中村博行委員長 総務文教分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行いたいと思いますが、区切って質疑をお願いしたいと思います。まず、最初の歳入から歳出の2款総務費まで、商工費の前までで質疑のある方はお願いします。

山田伸幸委員 歳入のところで11款地方交付税、普通交付税が追加交付ということですが、追加交付となった内訳、その内容についてお答えください。

長谷川知司総務文教分科会長 この内訳については、審議しておりません。(後刻訂正あり)

山田伸幸委員 同じくふるさと給付金が減額になったんですが、結局、ふるさと寄附金で歳入になったものは幾らだったんでしょうか。

長谷川知司総務文教分科会長 これについては、補正額として一般寄附金12万円というのがありますから、ふるさと寄附金については1億2,988万円です。合計で1億3,010万円になります。議案書の中の17、18ページですが、これを開いていただくと分かりますが、18款寄附金、一般寄附金がありまして、一般寄附金12万円というのがあります。ですから、この12万円を引いたのが、先ほど言った1億3,010万円になります。(後刻訂正あり)それと、先ほど私普通交付税の補正について審議しておりませんと言いましたが、勘違いしておりました。普通交付税の交付額については、調整額の復活、それから臨時経済対策費の追加、臨時財政対策費償還基金費の追加等がございます。

山田伸幸委員 次に大学費について伺います。運動場の整備をされていないわけですが、大学の運動場、グラウンドがなかなか整備されていないことで、問題などははっきり出てきていないのか、運用上問題が起きているんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

長谷川知司総務文教分科会長 先ほど報告書でも説明しましたが、薬学部に大学院を設置する予定にしております。大学院を設置するためには、運動場をきちんと整備しておかなくてはならないということがありまして、この度、山口東京理科大学本学のほうで設置するという報告を受けました。

中村博行委員長 ほかに質疑はありますか。(「なし」と呼ぶ者あり)それでは、商工費から最後まで質疑をお願いします。

山田伸幸委員 先ほど中学校費の減額の説明の中で、生徒と教員が県外で教育活動を行う予定がないというふうにされたんですが、コロナ禍であっても、子どもたちに思い出を作ってもらいたいという形で、県内へ研修先を変えるなどして、いろいろ準備を進めておられたというふうに認識をしていたんですが、そういった代替措置も行われなかったんでしょうか。

長谷川知司総務文教分科会長 言われるとおり、学校の先生方も子どもたちに思い出作りをさせたいということで、苦労されて県内での宿泊研修など

は十分されています。

白井健一郎委員 スマイル・ハロウィンパーティーの映像作品についてお伺いします。これはコロナの前2019年、3年前に1,000万円の予算のうちの800万円を使って作ったと聞いております。しかし、その年に使ったのは、サンパークの建物に映した1度きりしか使ってないと聞いております。例えば、小倉駅などで山陽小野田市の宣伝のために流したという話も聞いておりますが、この質問と答弁では、今後はスタジオスマイルのYouTubeで随時公開するだけとなっております。もう少し使い勝手があるとは思いますが、その点の質疑はあったでしょうか。

中村博行委員長 総務費はもう終わりましたが、質疑を受けましたので、会長に答えていただこうと思います。

長谷川知司総務文教分科会長 やはりもったいない、あれだけで済むのかという声がありまして、執行部のほうから、スタジオスマイルのYouTubeで随時公開していますという答弁があったということです。それ以上の質疑はありませんでした。（後刻訂正あり）

中村博行委員長 それでは改めて商工費から終わりまでの質疑をお願いします。

山田伸幸委員 繰越明許費の中で、庁内電話・庁内放送管理事業で、説明として受注企業と納品メーカーとの間に確認ミスがあり、納品が遅れたということなんですが、そもそも、年度内に納品は間に合う予定であったのか、どうなのか。単なる確認ミスによって遅れたのか。今、電子機器類はなかなか納品が間に合わない、遅れるということが多々あるんですが、本当の理由はどうなんでしょうか。

長谷川知司総務文教分科会長 委員会としては、この確認ミスを本当の理由というように理解されたと思います。これ以上の質疑はありませんでした。

中村博行委員長 ほかに質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは以上で質疑を終わります。次に、民生福祉分科会長の報告を求めます。

（松尾数則民生福祉分科会長 登壇）

松尾数則民生福祉分科会長 議案第1号、令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）について、民生福祉常任委員会が所管する部分を審査しましたので報告します。今回の補正は、生活保護費国庫負担金償還金の増額など取り急ぎ措置すべき案件に加え、生活保護扶助費、山陽地区公立保育所整備事業費、地域外来・検査センター事業費や予防接種事業費の減額など決算を見込んだ調整です。歳出の2款総務費、1項17目国際交流等推進費の322万6,000円の減額は、毎年行っている中学生海外派遣事業を新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して中止したことによるもの。1項20目自治会活動推進費、18節防犯外灯設置補助金100万円の減額は、自治会等の申請件数の減少によるもの。3項1目戸籍住民基本台帳費、11節通信運搬費186万6,000円の減額は、マイナンバーカード関連の通信運搬費の決算額を見込んだもの。主な質疑として、「海外派遣事業は、オンラインの活用等を含め、全て中止したのか」との質問に「モートンベイ市が、コロナでロックダウンとなり、オンラインによる交流も断念した」との答弁。「防犯外灯設置補助金の申請状況はどうか」との質問に「市全体で77.4%の外灯がLED灯となっている。近年、LED灯への切り替えスピードは鈍化しているが、補助制度は継続していきたい」との答弁。「マイナンバーカードの交付率は幾らか」との質問に「2月1日現在の交付率は43.9%である」との答弁がありました。3款民生費、2項2目児童措置費、18節保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金673万4,000円の増額は、保育士等の処遇改善のため、令和4年2月から収入を3%程度、月額9,000円引き上げるための措置を実施した保育所等にその費用を補助するもの。2項4目保育所費14節工事請負費2,785万4,000円の減額は、主にねたろう保育園の建築主体・機械設備工事、電気設備工事が完了し事業費が確定したことと、外構工事の決算額を見込んだもの。2項6目児童クラブ費12節設計委託料780万5,000円の減額は、小野田児童クラブ室整備事業における決算額を見込んだもの。2項9目子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費18節子育て世帯生活支援特別給付金3,280万円の減額は、対象児童数の当初見込み1,051人に対し実績見込みが395人となることによるもの。3項2目扶助費19節扶助費1億100万円の減額は、生活保護受給者数の減少によるものとのことでした。主な質疑として、「園用器具費595万円の減額の理由は」との質問に「ねたろう保育園の備品の購入費で落札減が生じたことによるもの。なお、統合前の3園の保育園の備品で今後も使用できるものは、ねたろう保育園に持っていく」との答弁。「小野田児童クラブ室の供用開始時期はいつか」との質問に

「令和5年度の供用開始を予定している」との答弁。「子育て世帯生活支援特別給付金の対象児童数が、当初見込みの半分以下に減った理由は何か」との質問に「当初、国が示した方法で算出したが、実際には非課税世帯相当にまで収入が下がった方が大幅に少なかった」との答弁がありました。4款衛生費、1項1目保健衛生総務費、12節妊婦健康診査委託料746万5,000円の減額は、対象者の減少によるもの。1項7目新型コロナウイルス対策費、12節検査委託料6,566万5,000円の減額は、地域外来検査センターにおける検査実績を見込んだもの。2項2目塵芥処理費、10節需用費1,040万円の増額は、環境衛生センターの焼却炉の部品等の交換や燃料の高騰、緊急修繕が必要となったことによるもの。2項2目塵芥処理費、17節機械器具費960万1,000円の減額は、パッカー車2台の購入に係る落札減によるものです。主な質疑として、「地域外来検査センターでの検査件数は何件か」との質問に「令和3年度は、2月24日時点で506件である」との答弁がありました。繰越明許費の社会保障・税番号制度システム整備事業407万2,000円は、マイナンバーカード所有者の転出、転入手続のワンストップ化事業に係るもので、令和3年度中に業務の完了が見込めないことから繰り越すもの。住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業9億2,756万2,000円は、臨時特別給付金の申請期限が令和4年9月末までとなったことなどにより、令和4年12月まで実施する見込みとなったため繰り越すもの。山陽地区公立保育所整備事業220万円は、家屋調査業務委託が入札不調となったため随意契約を締結したものの年度内に業務を完了できない可能性があるため、繰り越すものです。主な質疑として、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の全体スケジュールはどうなっているか」との質問に「非課税世帯については5月までに給付が大方終わる予定。家計急変世帯については申請期間が9月までとなっており、順次給付を行う」との答弁がありました。以上で報告を終わります。

(松尾数則民生福祉分科会長 降壇)

中村博行委員長 ここで室内の換気を行うため、若干の休憩を挟み、1時40分から再開します。それでは、休憩します。

---

午後1時35分 休憩

---

中村博行委員長 委員会を再開します。

松尾数則民生福祉分科会長 先ほど委員長報告におきまして、4 款衛生費の中で、最後のほうの 2 項 3 目し尿処理費、1 0 節修繕費 2 0 0 万円の減額は、小野田浄化センターの破砕機の修繕に係る落札減によるものという部分が抜けておりました。それともう 1 点、申し訳ないんですが、繰越明許費の最後なんですが、入札費が不調に終わった原因は何かの質問に、何回か入札したが、予定価格を下回る入札がなく、最低価格を示した業者と随意契約を締結した。その後の歩掛に基づく積算で設計価格を決めており、積算誤りはないとの答弁という文書が抜けておりました。誠に失礼しました。

中村博行委員長 皆さんお分かりでしょうか。それでは、民生福祉分科会についての質疑を行います。

中島好人委員 扶助費の減額が 1 億 1 0 0 万円というふうにあります、1 9 節で生活保護受給者の減少によるものとありました。これは実数に基づいての減額ですけども、その主な原因といった点についての審議の状況についてお尋ねします。

松尾数則民生福祉分科会長 この件につきましては、生活保護者世帯数は 5 1 8 世帯、被保護者の世帯員は 6 6 2 人という数は聞いております。ただどういう形でどの程度減ったかとか、そういった形の質疑はしておりません。

中村博行委員長 ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）質疑はないようですので質疑を打ち切ります。次に、産業建設分科会の報告を求めます。

（藤岡修美産業建設分科会長 登壇）

藤岡修美産業建設分科会長 議案第 1 号、令和 3 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 1 7 回）について、産業建設常任委員会が所管する部分について報告します。今回の補正は、決算を見込んだ事業費の精算等の取り急ぎ措置すべき案件についての補正です。4 款衛生費、1 項 3 目環境衛

生費、18節浄化槽設置整備事業補助金759万8,000円の減額は、本年度の合併処理浄化槽の整備実績を考慮して不用額を減額するものです。主な質疑として、「公共下水道と合併処理浄化槽の普及率はどのくらいか」との質問に「公共下水道の普及率は57.6%、合併処理浄化槽の普及率は24.5%である」との答弁がありました。6款農林水産業費、1項1目農業委員会費、1節委員報酬809万円の減額は、農地利用最適化交付金事業の成果実績に基づき能率給を減額するもの。1項4目農地総務費、18節多面的機能支払制度補助金321万3,000円の減額は、農地転用による対象面積の減少と県負担金の内示割れによるもの。1項5目土地改良事業費、18節県事業負担金666万5,000円の増額は、国の補正予算や補助率の変更などによるもの。3項3目漁港建設費、14節工事請負費2,489万9,000円の減額は、増殖漁港整備事業の特定財源である県補助金の内示割れによる2,499万円の減額と刈屋漁港海岸保全施設整備事業の附帯工事費10万円の増額によるものです。主な質疑として、「担い手への農地集積分と遊休農地の発生防止分の単年度集積基準面積は毎年度同じ値なのか」との質問に「基準年度である平成25年度の値から算定しており、毎年度同じ値である」との答弁。「新規農業就業者定着促進事業でこれまで何人の就業者を受け入れたか」との質問に「延べ15人を受け入れた」との答弁がありました。7款商工費、1項1目商工総務費、18節地方バス路線維持費補助金991万2,000円の減額は、新型コロナウイルス感染症による運賃収入の減少が予想を下回ったため、減額するもの。1項2目商工振興費、18節雇用奨励金360万円の減額は、企業が雇用奨励金の要件に該当する雇用を行わなかったため、減額するもの。20節金融機関預託金1,000万円の減額は、本市の融資制度を実施するために各金融機関に預け入れている預託金を実績に基づき減額するものです。主な質疑として、「バスの利用者はどのくらい減っているのか」との質問に「令和3年度のバス利用者は令和2年度に比べて6.8%、令和元年度に比べて23.9%減少している」との答弁。「雇用奨励金について、当初の見込みと実績にどのくらい差があったのか」との質問に「3社で27人分の雇用を見込んで540万円を計上していたが、実績は2社で9人分の雇用があり180万円を支出した」との答弁がありました。8款土木費、1項1目土木総務費、18節県事業負担金105万5,000円の減額は、県事業の精算に併せて減額するもの。2項1目道路橋りょう総務費、18節負担金補助及び交付金、県事業負担金595万円の減額は、県事業の精算に併せて減額するもの。2項3目道路橋りょう維持費、12節調査設計委託料63万8,000円の減額と14

節工事請負費209万1,000円の減額は、六ノ割ポンプ場の非常用発電機更新事業の落札減によるもの。5項1目都市計画総務費、18節県事業負担金1,100万円の減額は、都市計画道路新開作・二軒屋線の拡幅工事に伴う物件移転について、関係者との調整に時間を要したため実施できなかったことによるもの。5項2目14節工事請負費1,008万3,000円の減額は、江汐公園の電気設備工事・健康遊具設置工事、厚狭川河畔寝太郎公園ゆめ広場の健康遊具設置工事の落札減によるものです。主な質疑として、「拡幅工事に伴う物件移転について、関係者との調整とは何か」との質問に「県道を占用している物件の移設に伴う補償交渉である」との答弁がありました。繰越明許費として、県営土地改良事業1,201万1,000円、刈屋漁港海岸保全施設整備事業3,060万円、駅舎バリアフリー化整備事業2,870万5,000円、社会資本整備総合交付金事業5,872万3,000円、道路更新防災等対策事業3,707万4,000円、小野田港港湾整備事業2,410万円、地図情報システム構築事業3,300万円は、都市計画基本図更新業務について、基本図データの作成に当たり、国土地理院との協議に不測の日数を要したためです。江汐公園電気設備改修事業1,150万円は、新型コロナウイルスの影響でブレーカーなどの電子部品の納入が遅れているためです。公共土木施設災害復旧事業742万4,000円は、適切な工期を確保するためです。主な質疑として、「なぜ年度内に適切な工期が確保できないのか」との質問に「災害査定から工事の発注までに時間を要するほか、仮設道等を設置するに当たり、地元と協議する必要があるため」との答弁がありました。地方債補正として、農業施設整備事業債限度額1,360万円を2,230万円に増額します。以上で報告を終わります。

(藤岡修美産業建設分科会長 降壇)

中村博行委員長 産業建設分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありませんか。

山田伸幸委員 7款商工費の説明のところでちょっと疑問がありましたので、お聞きいたします。新型コロナウイルス感染症による運賃収入の減少が予想を下回ったため減額するとありますが、運賃収入の減少が予想を下回ったら減額の必要がないと思うんですが、いかがでしょうか。

藤岡修美産業建設分科会長 当初1億6,820万円の補助金を予定していた

んですけれども、思ったよりも感染症による運賃収入が減っていないので、1億5,828万8,000円の補助金の見込みになっています。

山田伸幸委員 文章がちょっと違うと思うので、この表現は違うと思います。それと、2目の商工振興費、一般質問でもこの問題についてはありました。バスの利用の関係のものですけれど、バスの利用が減ったら市が補填して、その分市の負担が増える。こういった仕組みの在り方について議論されたでしょうか。（発言する者あり）地方バス路線維持費補助金991万2,000円の減額というふうになっています。こういった補助金でいつまでも赤字を補填して、税金が投入され続ける。しかも、明らかにしたように、今まで国から80%出ていたものが64%に減っているということは、市の負担がそれだけ大きくなるということで、そういったことをいつまでも続けるのではなく、例えば、バスをもっと便利に利用しやすいようにするとかいった努力もした上で、市に対する補助金の申請をするなりといったものが行われているのかといった点について、きちんと委員会で議論されるべきだというふうに思うんですが、そういう議論をされたでしょうかということです。

藤岡修美産業建設分科会長 そこまでの深い議論はしておりませんが、バスについては、全体の経費から国、県の補助金、運賃収入を差し引いて、赤字が出た分を市が補助するという仕組みになっておりますので、私としてはこの表現でいいかなと考えております。

中村博行委員長 ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、質疑を終わります。

長谷川知司総務文教分科会長 先ほど総務文教常任委員会の分科会において質疑があった点で訂正させていただきます。歳入18款寄附金ふるさと寄附金1億3,000万円の減額で、元はどうだったのかということですが、元は2億6,000万円でした。それが1億3,000万円の減額で、1億3,000万円となったものです。また、白井委員からの質問で、スマイル・ハロウィンパーティーの映像作品を今後どのように活用するのかとの問いに、スタジオスマイルのユーチューブで随時公開しているとの答弁、これはそれでいいんですが、私がサンパークで行ったプロジェクションマッピングの件まで話しましたが、サンパークで行ったプロジェクションマッピングについては質疑がありませんでした。以上です。

中村博行委員長 ほかに御質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上で質疑を終わります。討論に入る前に執行部の出席を求めますので、ここで若干の休憩を挟み、2時10分から再開します。定刻までに御参集をお願いします。それでは休憩します。

---

午後2時 休憩

---

---

午後2時10分 再開

---

中村博行委員長 委員会を再開いたします。それでは、議案第1号、令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）についての討論を行います。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。これより、議案第1号について採決いたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

中村博行委員長 全員賛成で本件は可決すべきものと決しました。次に、承認第1号、令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）に関する専決処分について。民生福祉分科会での審査が終了いたしましたので、分科会長の報告を求めます。

（松尾数則民生福祉分科会長 登壇）

松尾数則民生福祉分科会長 それでは、承認第1号、令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）に関する専決処分について、民生福祉常任委員会が所管する部分を報告いたします。今回の補正は、国の経済対策において、子育て世帯に対して、子ども一人当たり10万円相当の給付を行うこととされ、当初の制度設計では、昨年末に現金5万円を給付し、追加で給付する5万円相当分はクーポンにより給付することが示されていたが、その運用が見直され、残りの5万円相当分を、先行給付と合算して現金で一括給付することが可能となったことから、これを速やかに支給するための予算措置として、令和3年12月20日に専決処分を行ったものです。歳出として、3款民生費の補正の主なものは、12節システム改修委託料431万8,000円、9,080人に対する追加5万円の子育て世帯への臨時特別給付金4億5,400万円です。主

な質疑として、給付金の振込は、10万円一括なのか、5万円ずつに分けたのか」との質問に「10万円を一括して振り込んでいる」との答弁。

「DV等で避難されている方への対応はどうしているか」との質問に「現に養育している保護者に振り込んでいる」との答弁。「クーポンでなく現金にした意思決定はどのように行われたのか」との質問に「クーポンより現金のほうがいいという市民の声を参考に市長まで協議を行い決定した」との答弁がありました。以上で報告を終わります。

(松尾数則民生福祉分科会長 降壇)

中村博行委員長 民生福祉分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありませんか。

中島好人委員 これは国の経済対策においてですけども、各自治体ではこれに上乗せして施策を設けているところもあります。特に所得制限を撤廃して、全ての子供たちにと自治体もありますけども、分科会では、そういった論議はどのようになったかをお尋ねいたします。

松尾数則民生福祉分科会長 所得制限等については、設けるべきではないかという話はありませんでしたが、それが所得制限撤廃に結びつくということは、議論はしてありません。

中島好人委員 専決処分では本市は早く、12月20日に行ったわけですが、しかし、いまだに給付されていない。そうした原因は何か、分科会の中での審議の状況についてお尋ねいたします。

松尾数則民生福祉分科会長 順次送っているというつもりでいたんですが、今回の質疑の中では、参考にはしてありませんけど、先ほど報告がありました住民税非課税世帯とか、家計急変世帯ということに関しては、一応9月までには支給を終わりたいというようなことを、先ほどの委員会のほうでちょっと説明したはずですけど。

中島好人委員 9月までにとは、ちょっと意味が分かりませんが、再度、お尋ねしたいというふうに思います。分科会の中で遅れている原因の審議があったのか。その中で、9月頃うんぬんという話が出たのか疑問に感じます。

松尾数則民生福祉分科会長 申し訳ありません。委員のおっしゃるとおり、この分科会の中では、そういう話が出ておりませんし、順次、処理をして送るという話でありました。

中村博行委員長 ほかに質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、質疑を打ち切ります。それでは、承認第1号、令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）に関する専決処分について、討論を行います。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。これより、承認第1号について採決いたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

中村博行委員長 全員賛成で本件は承認すべきものと決定いたしました。以上で委員会を閉じます。お疲れ様でした。

---

午後2時20分 散会

---

令和4年3月10日

一般会計予算決算常任委員長 中 村 博 行